

あなたも直売 やりませんか？

能代市轟



佐藤 不二子 さん

「直売活動は、農作物を作る楽しさはもちろん、たくさんの人とふれあうことで、人生が豊かになります。」と嬉しそうに話してくれたのは、今年で直売歴15年目を迎える、佐藤不二子さん。「他の直売会員の方々や、お客さんとのコミュニケーションが楽しくて、毎日が本当に幸せです!!」と話す佐藤さん。冬場に出荷しているお餅は、常連のお客さんから注文が入るほどの人気商品です。「直売活動を行う娘と共に、お客さんに喜ばれる『安全・安心・新鮮』な食材の出荷を心掛けます。」と意気込みを話してくれました。



■商品紹介 (季節等により価格は変動します。)

- ①枝豆 240円/400g ②ジャガイモ 100円/500g
③ナス 250円/1kg ④みょうが 100円/500g

■店舗紹介 (みょうが館)

JAあきた白神管内の農家による、自家生産物等の直売施設です。真心をこめて作った新鮮で安心・安全な農産物をお届けします。



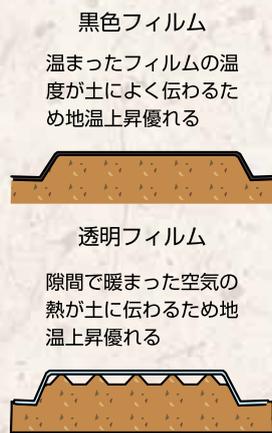
お問い合わせ: 0185-58-3005

あなたもチャレンジ!

家庭菜園



フィルムマルチ、敷きわらの基礎



定植後、穴をフィルムで覆うようにしながら株の周りに土を寄せて密閉する



株の周りのフィルム穴を開けたままにしておくと、暖まった空気が逃げ温度が上がりにくく、乾きやすくなる

●フィルムマルチ
ごく薄いプラスチックフィルム(一般に農ポリ、0.02mm厚)を地面に敷くことで、地温の上昇、土壤水分の保持、土壤表面の固結防止、雑草の抑止(黒色など)、それに反射光による害虫飛来の回避(銀、白色など)などに効果が表れます。春夏野菜では、低温期の地温上昇と乾燥防止、雑草防止、あるいは夏の地温上昇抑止(銀、白色)に特に有効です。使用に当たっては、図のようにフィルムの種類と土壌への影響の関係をよくわきまえて、効果を十分発揮させるように扱うことが大切です。秋冬、越冬野菜には地温上昇を優先します。その効果は透明の方がより大きいのですが、雑草抑止には無効です。雑草のことを考えて黒色を使う場合には、フィ

ルムの密着面をできるだけ広くすることが大切です。植え穴付近は土を覆って穴をふさぎ、地温上昇や乾燥防止の効果を高めるようにしましょう。

●敷きわら
稲わら、麦わら、刈り草の他にもみ殻、コンポストなど各種の有機物が材料となります。農家でないと材料の調達が難しいものが多くなってきましたが、夏の乾燥を防ぎ、地温の上昇を防ぐ効果はフィルムよりはるかに大きく、また、有機物の増加による土壌物理性の改善、地表付近の根群の増加、水溶性養分が土に移り有効能力が増加(特に果樹に有効)するなどの副次的効果も期待できます。ただし地温上昇には明らかにマイナスとなるので、低温期には使えません。

